

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372900585
事業所名	グループホームなごみや

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板や広報誌で地域情報を得ている。毎年、地区の敬老会や市民会館での芸能祭、公民館での避難訓練などに参加して交流を深めている。音楽やお花のボランティアを受け入れ、地域の方との係わりを大切にしている。中学生の職場体験を受け入れ地域に貢献できるよう努力している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者家族、民生委員、町内や老人会長、市職員、包括職員、訪問看護師、法人アドバイザーなどの参加を得て年6回実施している。運営状況や行事、ケア状況等の報告や防災訓練の取り組みなどについて情報交換が行われている。提案や意見は記録され、ユニット会議などで協議し運営に活かすようになっている。参加できなかった家族への会議内容の周知が十分ではない。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に役場の担当者が参加した折には、情報やアドバイスを得ている。日頃から担当者とは電話や直接出向き、報告や相談、サービスの内容などを伝え、良好な協力関係を深めている。市主催の研修会にも積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中で思いを聞き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時や年2回の家族会などで意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。意見箱の設置をして意見を述べやすい環境を整えたり、なごみや新聞を毎月発行し家族に行事などの様子や安心を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○		